



阪大Cコース スーパー在宅医養成コース

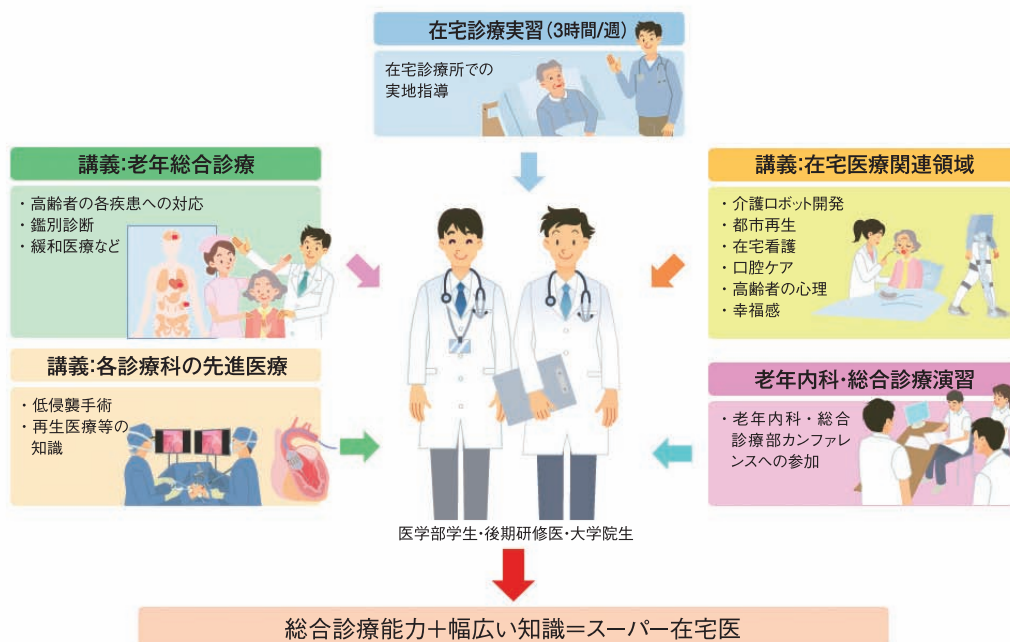
在宅医療に関連する豊富な実地臨床、最先端の医療から社会学まで幅広い老年学教育によって、超高齢社会の地域における問題を提示でき、リサーチマインドを持ってその問題解決に取り組める能力を有し、地域在宅医療推進のリーダーとなれる人材を養成するコースです。

対象者： 後期研修医、大学院生、非常勤医員、研究生、大学院修了者など

修業年限： 1～4年(受講生の身分による、講義や演習の履修と実習期間は離れてもよい)

- 概要：**
- eラーニング講義からお好きな講義を選択し受講できます。
 - 老年内科や総合診療部のカンファレンスに参加して頂きます。
 - 指定の在宅診療所での実習に参加して頂きます。
 - 市中病院(介護施設含む)における見学を含めた実習に参加することも可能です。
 - 総合診療・老年医学・在宅医療に関する論文(査読あり)を修了要件としています。

阪大Cコース：スーパー在宅医養成コース



コースの 特徴

- 特徴1: 多くの受講生は大阪大学老年・総合内科の大学院に所属しながら在宅診療を勉強しています。
- 特徴2: 在宅診療実習では、指導医のサポートを受けながら往診医として患者さんに対応します。
- 特徴3: 在宅医に必要とされる他職種連携、終末期医療などについて実地医療を通じて学びます。
- 特徴4: 老年内科・総合診療部のカンファレンスを通じて臨床推論や高齢者総合機能評価について学びます。
- 特徴5: 大学院に所属した場合には、指導教官の下に論文を作成し大阪大学大学院の博士号を取得します。
- 特徴6: 大学院に所属した場合、1年目は週1回の在宅診療実習をしながら老年内科の病棟医としても勤務します。2年目以降は大学院生として在宅診療を学びながら、臨床もしくは基礎研究のどちらかを経験できます。

受講の メリット

- 大阪大学の大学院生として受講した場合、在宅診療を学びながら大阪大学の医学博士を取得できます。
- 指導医のもと往診医として責任ある立場で診療を行うことで、在宅医として必要なスキルを学べます。
- eラーニング講義により、いつでもどこでも各種診療科の講師による各種テーマの講義を受講出来ます。
- 老年内科カンファレンスを通じて高齢者を総合的にとらえマネジメントする視点を養えます。
- 受講生の状況に応じて1~4年間の修業期間を選べます。
- 2年目以降の大学院生活では、在宅診療・外来勤務などで臨床力を維持しつつ、臨床研究もしくは基礎研究を行いますので、緊急呼び出しの無い、時間を自由にマネジメントする生活を送ることができます。



教員より



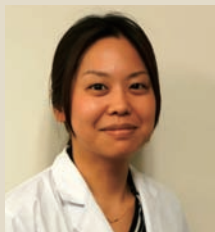
少しでも興味をもった方は、是非とも御連絡をください!

Cコース担当:特任助教 小黒 亮輔

これまでの受講生は皆さん大学院に所属して在宅診療を経験して頂いています。毎週、担当医として在宅患者さんを往診するだけでなく、多くの指導医が出席する老年内科カンファレンスに出席することで高齢者医療に関する幅広い知識も得られます。また大学院に所属した場合、2年目以降は在宅診療や外来診療に携わりつつ臨床研究もしくは基礎研究を行います。研究を通じて得ることのできる分析力や思考力は後の臨床にも役立つと思います。また、研究を行う2~3年は比較的自由に時間をマネジメントすることが出来るので非常に貴重かつ有意義な期間になると思います。興味を持った方は、是非とも御連絡ください。ここでは伝えきれない詳しい内容&魅力をお話させて頂きます。



受講生からのコメント



在宅医療&高齢者医療に興味があれば、ぜひ受講してください!

Cコース受講生:老年・総合内科学 横山 世理奈(平成25年度受講開始)

在宅診療実習は、指導医(在宅医)は非常に熱意ある先生で、これまでに貴重な経験を沢山させて頂きました。自分の担当患者さんを定期的に往診する事で、一時的な見学や短期間の実習では得ることのできない在宅医としての経験を積むことが出来ると思います。また大学院生として生活は、臨床医としての勤務を続けながら、研究を通じて自分の疑問を解決する思考や方法を学ぶことができるだけでなく、自由な時間もありますのでおすすめです。